

**第3回嬉野市未来技術地域実装協議会及びプロジェクトチーム合同会議
議事録**

1. 開催概要

日時：2022年9月9日（金）14:00～16:10

場所：嬉野市文化センター 2階会議室



協議会の様子

2. 議事

**(1) PT1：嬉野の魅力を全国・全世界に発信する
環境づくり事業について**

- ・ 事務局（協力会社）資料説明
 - ①デジタルモール嬉野
 - ②バーチャル嬉野
 - ③LINE 公式アカウント 嬉野温泉観光案内所
 - ④報告：動画広告の公開とTIG 広告配信開始
 - ⑤その他の予定

(2) PT2：来訪者の移動を支えるモビリティサービスについて

- ・ 事務局（協力会社）資料説明
 - ①自動運転等試乗会実施計画書（案）（11月18日～20日の3日間開催予定）
 - ②交通実態調査実施計画書（案）（10月中旬実施予定）

3. 意見・質疑等

(1) PT1 について

国土交通省

- ・ 道の駅「うれしのまるく（まるくアイズ）」に配置するVRゴーグルは何台か。
- ・ また、コンテンツの更新や拡充の予定についてどのように考えているか。

事務局（協力企業）

- ・ VRゴーグルは3台準備する予定としている。
- ・ 13歳以下などVRゴーグルを体験できない方向けに、タブレット端末を1台用意する予定としている。
- ・ コンテンツの更新・拡充については、予算面から反響次第で来季以降に検討していきたい。
- ・ 年度内は、事務局での更新が可能である、塩田津街並みのストリートビューの追加を予定している。

嬉野市商工会

- ・ 本事業で収集したデータは誰が管理するのか。
- ・ 観光協会、商工会、行政の関係者が閲覧したい場合は、どのように運用する予定なのか。
- ・ また、批判的な意味に捉えないでほしいが、ブロックチェーンやセキュリティはどうなるのか。もし、対立する温泉や旅行者等がデータを持っていけば問題になる。

事務局（協力企業）

- ・ 現状は嬉野市の委託で我々が管理しているが、事業が続いている限りは、嬉野市に帰属する。まずは協議会の中で、管理できる体系をつくりあげていく。4年の事業期間があるので、いずれは観光協会さんなどが管理し、組合など皆で見られる環境にしていきたいと考えている。それは、これから議論していかなければならない部分である。
- ・ タブローは政府などの定めるセキュリティポリシー上、厳格に管理しているため、ここから情報が流出することは人為的な原因以外では考えにくい。去年の協議会で隣の町との比較をしたとおり、アクセス数くらいであれば外部から閲覧可能で、こういった部分については止められない。観光協会とつなぐ仕組みについては、セキュリティをしっかり固めて管理している。守るべきデータは、しっかり守るように対応する。

議長（嬉野市長）

- ・ Web マーケティングについては、別途、国の支援事業を活用することを検討しており、スマートフォンの位置情報を利用した実際の行動データを、西九州新幹線の開業前後で比較することを想定している。
- ・ コンソーシアムを設立し、NTTさんと共同でやっていく構想である。この実際の行動データと本事業のマーケティングを連携させることはできないか。

事務局（協力企業）

- ・ 行動データの連携に向けて考えていく必要がある。データは各社が管理しているので結びつけることは難しいが、条件をクリアした上でマッチングしているのがタブローなので来季以降の計画で議題にしたい。全部を重ね合わせた際、どこに問題があるか試していきたい。

議長（嬉野市長）

- ・ データは個別に取得することにはなと思うが、相関関係が確認できれば精度の高いマーケティングが可能になる。ノウハウなどについて、今後教えていただきたい。

事務局（協力企業）

- ・ 事務局からお願いがある。開業時やイベント時、ガチャガチャプレゼントの企画を予定しているが、単価 200 円ほどのプレゼントを 2500 セット用意したい。お茶パックのような購買意欲をかきたてる特産品等がいいと考えているが、いいものがあれば調達先等教えていただきたい。

嬉野市商工会

- ・ NHK 大阪から車イスの女子旅を嬉野で企画しているので、本事業でもぜひ応援していただきたい。温泉地で車イス女子旅ができて、地元一体で盛り上げられる場所を求めている。人にやさしいまちづくりの中心点に、バリアフリーツアーセンターがある。高齢者や障がい者だけでなく明るく楽しい車イスの旅を県でもやっているが、嬉野だけのものも行いたい。

嬉野市産業振興部長

- ・ 嬉野市地場産品、特産品については、それぞれ組合の会長を紹介することは可能である。

事務局（協力企業）

- ・ ぜひお願いしたい。

事務局

- ・ 今後のスケジュールについて、9月19日に道の駅開駅式、9月23日新幹線、観光交流施設が開業する。開業時に体験会を開催する。
- ・ 次回の地域実装協議会は、12月または年明け1月の開催予定とし、詳細は連絡する。

(2) PT2 について

国土交通省

- ・ 試乗会について、今回はマニュアル運転、つまりドライバーが乗車するのは当然だが、せっかくなので自動運転らしさが少しでも出せるようにレベル 2 程度を少し盛り込めるといい。ただ直線走行するのではなく、レベル 2 らしさを感じてもらえるように停止するとか、曲がるとかの動きを取り入れたい。人を乗せられないのであれば、デモンストレーションでも構わないが、そういった要素がないと自動運転のイメージがしにくいのではないかな。
- ・ また、もう一点、交通実態調査の方について、かなり多くの交差点で調査を予定されているように見える。交差点の交通量把握を目的としているのかと思ったが、具体的になぜ実施する必要があるのか教えていただきたい。

事務局（協力企業）

- ・ 自動運転車両提供業者の「マクニカ」と話し、どの程度までできるか確認しながら、前向きに検討していきたい。
- ・ 交通実態調査については、新幹線開業前後の交通状況の変化の分析、自動運転車両が走行する際の課題の把握の大きく二点を目的としている。

佐賀県

- ・ 佐賀県内では初めてだと思うので、非常に楽しみにしている。操作用のコントローラーを見せるとか、どのルートを走るのかなど具体的な将来のビジョンが来場者にも見えると良いかと思う。アンケートもその辺を想像しながら、答えられると良いかと思う。

事務局（協力企業）

- ・ 事務局で想定しているルートを提示し、参加者の方に意向を確認したい。
- ・ ドライバーがコントローラーで操作する形を想定しており、曲線も走行したいと考えている。

国土交通省

- ・ 現在、自動運転で可能なのはレベル 2 までであり、人が責任を持ち運転する域をこえられない。レベル 4 については、法改正は行われているが、まだ施行されていない。今年度には施行されると思われ、来年度の実証実験の段階ではどうなっているかわからないが、おそらく人の手で動かすことがメインになるのではないかと思う。できても遠隔監視は必要だろうと思う。現時点では、交差点の自動運転はすべてマニュアル操作、止まって人が動かすということになっている。交通実態調査の結果を活用できるのはまだ先ではないかという思いから、どのように活かしていきたいのかわからなかったため確認した。

嬉野市商工会

- ・ 駅から温泉街までどのルートを想定しているのか。
- ・ 交通実態調査計画で、P.7「No.5」の箇所は信号がなく、出会い頭の事故が多い。

事務局（協力企業）

- ・ まだルートが決定しているわけではないが、現時点では 3 ルート想定している。商店街からどこを通るのが論点となっている。

事務局

- ・ 9 月 23 日に西九州新幹線が開業し、11 月 18 日から 20 日まで自動運転体験試乗会及び佐賀大学の自動追従ロボットのデモンストレーションを予定している。
- ・ 次回の協議会は試乗会後の 12 月または年明け 1 月の開催を予定している。

以上